



# 田上町 議会だより

第112号

■平成28年10月28日 発行



▲竹の友幼稚園運動会「パオパオバルーン」

9月定例会	.....	P2
平成27年度決算額	.....	P3
決算審査特別委員会	.....	P4~5
請願・陳情	.....	P6
議会からのお知らせ	.....	P7
付託案件審査報告	.....	P8~9
一般質問(4議員)	.....	P10~13
所管事務調査報告・一部事務組合報告	.....	P14~15
臨時会・全員協議会・(仮)地域交流会館等建設調査特別委員会	.....	P16~17
インタビュー「この人にお聞きしました」/編集後記	.....	P18





# 平成27年度一般会計・ 特別会計の歳入歳出決算は 原案どおり認定

## 議案

### 【条例の改正】

- ・ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正

### 【平成28年度補正予算】

- ・一般会計補正予算（第3号）
- ・介護保険特別会計補正予算（第1号）

### 【平成27年度決算審査】

- ・一般会計
- ・下水道事業特別会計
- ・集落排水事業特別会計
- ・国民健康保険特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・訪問看護事業特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・水道事業会計

### 【その他】

- ・田上終末処理場汚泥処理施設機械設備（その2）改築更新工事請負契約
- ・新潟県市町村総合事務組合の規約変更

## 平成27年度田上町一般会計歳入歳出決算額

**歳入45億1,439万1千円 - 歳出43億7,003万9千円 = 差引金額1億4,435万2千円**

町民1人あたりの金額は、平成28年3月31日の人口12,223人で計算しています。



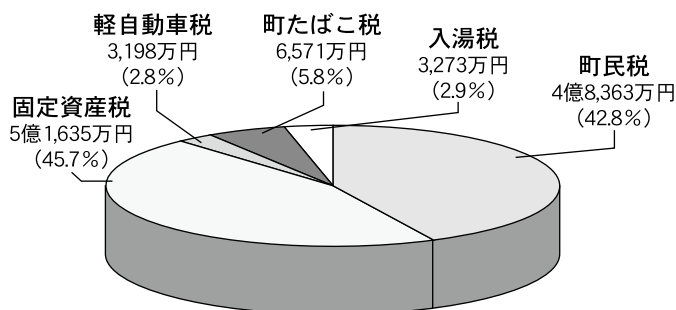
### 歳入

科 目	決算額 (単位：千円)	前年度決算 との比較 (単位：千円)	町民1人 あたり (単位：円)
1 町 税	1,130,397	△ 27,054	92,481
2 地 方 譲 与 税	73,446	3,923	6,009
3 利 子 割 交 付 金	2,164	△ 125	177
4 配 当 割 交 付 金	6,192	△ 1,683	507
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	5,416	1,230	443
6 地 方 消 費 税 交 付 金	210,045	85,544	17,184
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	20,780	△ 1,149	1,700
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	12,493	2,928	1,022
9 地 方 特 例 交 付 金	4,270	33	349
10 地 方 交 付 税	1,730,678	40,661	141,592
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,669	180	137
12 分 担 金 及 び 負 担 金	67,510	4,976	5,523
13 使 用 料 及 び 手 数 料	15,620	△ 38,106	1,278
14 国 庫 支 出 金	380,061	16,834	31,094
15 県 支 出 金	261,547	24,492	21,398
16 財 産 収 入	5,734	2,944	469
17 寄 附 金	4,165	3,484	341
18 繰 入 金	10,396	△ 87,885	851
19 繰 越 金	131,128	△ 4,315	10,728
20 諸 収 入	219,390	△ 47,050	17,949
21 町 債	221,290	△ 27,193	18,104
<b>歳入合計</b>	<b>4,514,391</b>	<b>△ 47,331</b>	<b>369,336</b>

### 歳出

科 目	決算額 (単位：千円)	前年度決算 との比較 (単位：千円)	町民1人 あたり (単位：円)
1 議 会 費	83,382	3,841	6,822
2 総 務 費	596,845	153,704	48,830
3 民 生 費	1,291,113	△ 35,005	105,630
4 衛 生 費	350,192	△ 12,487	28,650
5 労 働 費	12,016	△ 4,145	983
6 農 林 水 産 業 費	206,167	12,537	16,867
7 商 工 費	291,454	△ 85,225	23,845
8 土 木 費	437,690	△ 64,761	35,809
9 消 防 費	197,907	△ 2,836	16,191
10 教 育 費	378,855	△ 8,074	30,995
11 公 債 費	524,418	△ 9,864	42,904
12 災 害 復 旧 費	0	△ 8,240	0
<b>歳出合計</b>	<b>4,370,039</b>	<b>△ 60,555</b>	<b>357,526</b>

### 町税の内訳



## 平成27年度田上町特別会計歳入歳出決算額



単位：千円

単位：千円

区 分	歳 入	歳 出	差引額
下 水 道 事 業	558,188	548,570	9,618
集 落 排 水 事 業	72,296	68,179	4,117
国 民 健 康 保 険	1,651,013	1,596,700	54,313
後 期 高 齢 者 医 療	105,712	102,741	2,971
訪 問 看 護 事 業	51,230	38,768	12,462
介 護 保 険	1,197,034	1,137,737	59,297

区 分	歳 入	歳 出	差引額
水 道 事 業 会 計	収益的収入	収益的支出	
	249,305	259,326	△ 10,021
	資本的収入	資本的支出	
	281	81,610	△ 81,329

# 決算審査特別委員会



▲小池委員長

▲小嶋副委員長

決算審査特別委員会に付託された議案は、平成27年度一般会計歳入歳出決算認定および各特別会計歳入歳出決算認定の8案件です。3日間にわたる審査の中で各々の議案に対する質疑が77件、町長に対して3件の総括質疑が行われました。初日に27年度の主要施策内容と成果の説明を受けました。施策の説明では第5次総合計画に謳っている「やさしさと豊かさでキラリと輝くまち田上」の実現をめざし、多様化している町民の要望や社会環境の変化に対応していく中で、特に緊急性、必要性の高い事業を重点に取り組んできたことや、町の将来を展望し長期的な視野に立った行政運営のもとで事業を推進し、特に人口減少問題に特化した総合戦略では、地域の実情に応じた目標や政策を定め、具体的で効果の高い施策を実施しているとの説明でした。

審査は一般会計、特別会計の順に、事業の取り組み内容、歳入が計画通り確保されているか、歳出が適正に執行されているか、また事業に対する評価は適正であるか質疑を交えて行われました。

質疑と意見では、歳入確保で工業団地の売却やふるさと納税への取り組み、消費税増税分の扱いや町民税収入への質疑等がありました。歳出では、新婚世帯家賃支援と子育て支援、利子補給に対する実情の把握、民生・児童委員の実態や保健師の雇用に対する詳細な内容を求める質疑、人口問題対策では幼児園の施設改善や、出合いサポート事業への意見など、多岐で詳細にわたり、答弁では新たに資料の提出を求める事業費目もありました。

委員長 小池 真一郎

## 町長への総括質疑

質疑件数3件

◎老人福祉施設の機能維持について

**問** 町内における老人福祉施設の老朽化が懸念されます。決算審査において、今後心起園では床の修復やポイラーを交換するなど、機能を維持するため大がかりな予算措置が必要であることがわかりました。町の老人福祉施設において、機能維持をどのようにしていくのかたずねます。

※公共施設等総合管理計画の方針として、個々の施設について維持か廃止を検討していくとされ、町全体として老人福祉施設の機能をどうするか見えていません。

老朽化が進む心起園を考えると、老人福祉施設のあり方を検討すべきではないですか。

**答** 公共施設等総合管理計画に明記した通り、町には6カ所の古くなった高齢者施設があります。例えば心起園は、近隣の中でも奇抜な設計の建築でしたが老朽化が進み、遂

次修繕しています。また、老人福祉センターではボイラーと雨漏り等の修繕も行っています。町の高齢化は進み、町民に不便を感じさせないよう施設の機能維持に努めています。

町公共施設等総合管理計画にあるように、施設の延命や機能移転も検討していかねればなりません。当面は道の駅と(仮)交流会館の建設に邁進したいと考えています。

※ 「公共施設等総合管理計画」

国からの要請により、町の公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減や平準化を図り、公共施設等を総合的かつ計画的に管理することで、町の実情にあったまちづくりを進めることを可能とするため、平成28年3月に策定されています。(町ホームページより)

◎本田上工業団地について

問 ①県下でも工業団地の売却は進んでいない中で、町は購入者に1億円の補助金を支給する施策を掲げていますが、売却効果はあるのですか。  
②国及び県へ、売却の制限を農工法から地域再生法へ変更申請を出し承認を貰い、サービス事業や商業、不動産業など幅の広い職種を対象にすべきではないですか。  
③1億円の補助金によって、分譲価格を下げてはどうですか。

④平成32年に向けて現状での売却推進と、住宅地への目玉変更と言った2段階の計画を立てるべきではないですか。

答 現在は一括で4.75haの販売を計画していますが、これでは大企業でないと無理なようなので、今後は柔軟な対応も必要だと考えています。10年前に県に対して、当該地を農工法から外し地域再生計画で進めたいと要望したことがありますが、再度元に戻す変更は認められないとの指導を受け中断しました。今はバイ

パスの開通後に期待しています。

2段階でということですが、工業団地の件に関しては全職員が一致した認識を持ち、全員で考え意見を出し合っ取り組む必要があると考えています。そう簡単ではありませんが努力していきます。今後は県と話し合い、県から支援をいただきたいと考えています。議員からの知恵も拝借させていただきたいと思っています。

◎ごまどう湯つ多里館について

問 ①27年1月から指定管理者制度で運営されてきましたが、入館者数が減少しています。特に町民の利用は全体の1割と少なく、町の施設として何が要因なのか突き止め、まず町民を呼び込むことが重要です。  
②指定管理者制度で町の経費負担は少なくなると言われましたが、入館者数が減り入湯税が減少すれば町の負担が増すのではないですか。  
③他の温泉施設との差別化が

必要です。湯つ多里館の良さはどこか、良いところをアピールしていかなくてはなりません。内容が他の温泉と同じでは売上、客数とも伸びません。

答 湯つ多里館は26年にリニューアルし指定管理者制度を設け運営してきましたが、入館者数が減少しています。入館料が町民に700円は高く、町内の利用が少ないことの要因であろうと思っています。入館者数は今年の8月現在で27年度と比較して若干増えています。さらにPRをしていく必要があると思っています。指定管理者は今後も努力していくと約束しており、今後入館者数が上がらないようであれば、管理者の交代もあり得ます。

指定管理料と入湯税とは問題が別であると考えており、経費の持ち出しはありません。温泉施設の差別化でありますが、湯つ多里館は温泉の質が良く、風呂やそこから眺める景色も良いなど立地条件は悪くありませんし、利用者はわかっていると思います。

## 請 願

請願番号	件 名	請願者の住所・氏名	紹介議員	審査結果	意見書等提出先
請 願 第 1 号	「学費と教育条件の 公私間格差是正にむ けて、私立高等学校 への私学助成の充実 を求める意見書」の 採択に関する請願	新潟市中央区弁天橋 通1丁目13番13号 私学会館内 新潟県私学の公費助 成をすすめる会 会長 中村 直美	浅野 一志	採 択	内閣総理大臣 文部科学大臣 財務大臣 総務大臣 衆議院議長 参議院議長 県知事
請 願 第 2 号	羽生田ふれあい広場 にコミュニティセン ターの建設を求める 請願	田上町大字羽生田丙551 羽生田第1区長 小林 昭夫 田上町大字羽生田丙612 羽生田第2区長 渡邊 富男 田上町大字羽生田乙782-21 羽生田第3区長 今井 五男 田上町大字羽生田丙419-11 羽生田第4区長 渡辺 達也	池井 豊 椿 一春 今井 幸代 高取 正人	趣旨採択	_____



▲請願第2号 起立採決

## 陳 情

番 号	件 名	陳 情 者
陳 情 第 2 号	給付型奨学金制度創設に関する陳情書	新潟市中央区万代1-2-6-403 新潟県生活と健康を守る会連合会 会長 渡邊 和子
陳 情 第 3 号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の 見直しにあたり、現行制度の継続を求める意 見書の採択を求める陳情書	新潟市中央区本馬越2-17-5 新潟県保険医会 会長 高畑 與四夫

# 議会からのお知らせ

## 田上町議会フェイスブックのご案内

町民の皆さんにわかりやすい議会をめざして、町政・町議会の情報を迅速に発信していきます。町のホームページからも閲覧できるようになりました。ぜひ、アクセスしてください。QRコードからでもアドレスを取得できます。

<http://www.facebook.com/tagamimachigikai>



## 議会会議録をホームページに掲載しています

本会議および委員会会議録をホームページに公開しています。各定例会の約3ヵ月後に公開となりますのでご了承願います。

## 議会を傍聴してみませんか

次の定例会は**12月13日(火)**からの予定です。請願は12月6日(火)までに提出されたものを12月定例会で審議します。



町政に対する要望等は請願書・陳情書として議会に提出することができます。

### ○請願書

請願書を提出する際には、1名以上の議員の紹介が必要です。

請願書は、表題を付け、内容がよくわかるように記入してください。

また、請願者の住所・氏名を記入し押印してください。法人による請願は、名称と代表者の氏名を記入し代表者印を押印してください。

請願書は、議会に提出され、審議されます。

### ○陳情書

陳情書を提出する際は、議員の紹介は必要ありません。請願書と同様に住所・氏名を記入し押印してください。陳情書は、その写しを議員に配付するのみとなります。

# 総務産経常任委員会付託案件審査

## ■主な議案内容

- ・ 下水道終末処理場汚泥処理施設機械設備を改築更新
- ・ 各地区の防災士22人に

### 下水道終末処理場汚泥 処理施設機械設備(その2) 改築更新工事請負契約

6社による指名競争入札の結果、6123万6千円で特定共同企業体と仮契約しており、予定価格が5千万円を超えるため議会議決が必要となります。6社指名であったが1社は辞退したとの説明がありました。工事の内容について質疑があり、既設機器の撤去及び機器据付一式の他、汚泥貯留槽攪拌ブロワ、濃縮汚泥引抜ポンプ(2台)、汚泥供給ポンプ、汚泥脱水機、ケーキ搬出コンベヤ、ケーキ貯留ホッパ、高分子溶解槽、高分子注入ポンプが更新されるとの説明でした。

### 28年度一般会計 補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ1926万1千円が追加され、総額で45億7713万2千円となる補正です。

歳入の主なものでは、介護保険特別会計繰入金は27年度分で989万4千円、繰越金で580万5千円、諸収入で社会福祉協議会補助金返還金は27年度分で293万1千円の増額等でした。

歳出の主なものでは、総務費ではマイナンバーに関するシステム改修委託料で15万6千円、地域情報化推進事業でのサーバーの入替で94万4千円の増額、土木費では道路維持費の不足により修繕料150万円、河川改良費では清水沢地内の河川法面復旧工事で56万2千円、消防費では

曾根地内での防火水槽補修で95万1千円、防災士養成補助で25万2千円の増額等でした。

### 議論の中心

Q 町の防災士は現在何人ですか。

A 現在13人で、今年度の資格取得は、当初予定の3人に6人を加え、全体で22人になります。

いずれも全会一致で原案可決しました。

委員長 熊倉 正治



▲総務産経常任委員会付託案件審査



## 「議会だより」の表紙写真大募集!

「議会だより」の表紙写真を大募集しています。どしどしご応募ください!

<応募方法等> 氏名、住所、年齢、連絡先、写真のタイトル、写真の撮影時期を明記し、郵送もしくはメールにてご応募ください。なお、ご応募いただいた写真やデータは返却いたしませんので、ご了承ください。

<問い合わせ先> 田上町役場議会事務局

〒959-1503 田上町大字原ヶ崎新田3070番地 TEL:0256-57-6300 E-mail:t3001@town.tagami.niigata.jp



# 社会文教常任委員会付託案件審査

## ■主な議案内容

- ・田上町ひとり親家庭等の条例の一部改正
- ・加茂病院病児保育施設建設負担金
- ・スクールバス冬タイヤを全車交換へ

田上町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について

国の施行令の一部改正に伴い、町の条例を改正するもので、ひとり親家庭等の医療費助成の支給内容は変わりません。

### 28年度一般会計 補正予算(第3号)

歳出の主な内容としては、民生費では、加茂病院病児保育施設建設負担金として251万円、正職員の産休の代替費用や、臨時職員報償費や事業費確定に伴い、老人福祉事業の委託料の返還や、国や県への負担金の返還などが主なものです。

衛生費では、子供医療費助成事業で、事業費確定に伴う返還金、未熟児養育医療費等返還金や保健センターの変電設備の一部劣化の修理代、B

型肝炎の予防接種費用などです。

### Check 議論の身身

Q 子供医療費助成事業では、多額の返還金が生じたが、ニーズが無いと捉えるべきか、その他の問題なのか考え方を聞かせてください。

A ある程度の余裕を持って予算措置をしています。今回は若干医療機関に係る費用が予想より少なかった結果です。

教育費では、スクールバス6台分のスタッドレスタイヤ交換費用で61万8千円、保健体育総務費では、全国大会出場報奨金に11万円を追加し、学校給食施設その他事業では、給食回転釜のバーナーの劣化の修繕料で7万3千円などです。

### Check 議論の身身

Q スクールバスのスタッドレスタイヤの交換はノーマルタイヤとして利用することも検討しましたか。

A ノーマルタイヤとして使うこともありますが、一般的には雨の道路では、制動距離が長くなると言われており、子供達の安全性を考慮して取り換える事にしました。

### 28年度介護保険特別会計 補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、1887万円を追加し、総額を13億3687万円とするもので、主な内容として歳入では、27年度不足分の繰入れ金や事業確定に伴う精算金などです。

歳出では、介護認定審査会のパソコンのグレードアップ費用に6万4千円、コミュニティホームの事業費確定に伴う清算金で989万4千円です。

いずれも全会一致で原案可決しました。

委員長 松原 良彦



▲社会文教常任委員会付託案件審査



小嶋 謙一 議員

## バス運行の早期改善を求めます

町長：道の駅オープンまでに結論を導く

町長 先の3月議会です道の駅が出来た暁にはバス路線の乗り入れを考えていると述べました。運行経路やバスの種類、運行管理など、検討することが多岐にわたっており、今後数年のうちに検討を重ね、道の駅オープンまでに結論を導き出していきます。現在、新潟市との連携中樞都市

町長 町としてはバスを道の駅（役場前）に乗り入れしてもらおうことで新興交通と具体的な話に入っていきます。

町長は昨年の6月議会

ここが聞きたい

# 一般質問

## 危険な空き家や放置された樹木の対策は

町長：危険な箇所は地権者に連絡し対応して行く

町長 坂田地区で昨年9月から今年5月まで5カ所の放火が発生。空き家の不審火から再度、危険な空き家に対する町の対策についてたずねます。各地区で危険な空き家やアパートがあり、放置された樹木や高く伸びた杉、雑草があり、住民の不安を区長は町に苦情としてあげています。今後はさらに空き家が増えます。町は3月末までに空き家を区長通じて現況調査を実施し、対策を立てると12月の答弁で言われました。

町長 空き家の現況調査は各区長から222件の空き家情報があり、空き家の定義に基づいて整理すると100件程度が空き家に該当します。通年にわたって管理する様子もなく、放置すれば深刻な影響を及ぼす特定空き家は、現地調査が若干残っています。特に対策が必要な特定空き家は現時点ではありません。空き家の実態調査への専門家や空き家の所有者への指導、審査会はすべて特定空き家に対する対策なので予定していません。空き家特別措置法に準じた条例整備については法を根拠とすることができるところから条例制定は必要ないと考えています。非常に危険だと思われることは町で把握しており、所有者に対して町の環境美化条例に基づいて文書を出して対応しています。

町長 健康づくり推進はがん検診などの受診をホームページで案内していますが、各種イベントと同じ日に健康相談の実施を検討し、受診率が県平均くらいになるように努めています。



▲下吉田地区危険な伸びた杉



▲青海地区朽ちた平屋アパート



笹川 修一 議員

## 危険な特定空き家の調査結果からの対策は

法律は昨年5月に策定され大半の市町村は実施済みです。今期中に策定して下さい。

## 県の健康づくり推進の評価順位で最下位の30位、町の対策は

町長 町の特定健診の受診率は毎年、県平均を下回っており、27年度の県の健康づくり推進の評価順位で最下位の30位でした。今後の対策はどうか。

特定健診の案内の表面に特定健診のみを記載、裏面に健診の内容を記載するなど、分かりやすいように表記を工夫し、健診率の向上に努めます。28年度から特定健診を含む半日ドックの健診日数を増やし休日にも実施しています。津南町で行っている特定健診の未健診者への電話勧誘などの実施方法やその他実績を調査し良さを取り入れます。

問 バス運行のあり方について、これまでも議論を重ねてきましたが、今議会で再度運行の改善を取り上げたのは、路線変更をはじめ、関係機関へ諸々の申請をし、認可を受けるまで1〜2年余の期間を要するからで、道の駅オープンまでにはバスなど公共交通が整備されていなければならぬと考えているからです。早く改善に取り掛かってほしいと思いますが、町長の考えをたずねます。

問 バス運行の改善を求めるもう一つの理由は、町も買い物弱者が増加傾向にあることです。町では75歳以上の単身世帯の方は約230人もいます。地域別にみると、団地を抱える地域に多く、昔からの集落といった地域では1〜2人世帯と全く少ないことがわかります。また運転免許証の自主返納状況を見ると、町では昨年11件で、年々増加の傾向にあり、加茂警察署では返納者に対する支援事業を要望する声も聞かれました。

産業振興課長 バスの時刻表は、今後町で配布できるものかどうかを新興交通と話し合います。道の駅整備事業に合わせて、新潟市との連携中樞都市圏は少し早めの話になりますので、町へ乗り入れるバス路線についても秋葉区および南区と検討を重ねています。

町長 26年度に中店地区でミニ集会を開きました。27年度は全地区を対象に、地域の課題解決のため提案型の懇談会を企画し、区長会議にて参加を募りましたが、手を上げてくれる人はいませんでした。しかし中店地区から引き続きミニ集会をやっていききたいと話があり、町として支援していきます。自主防災組織の育成や、このような支援が地域コミュニティの強化につながる有効な施策と考えています。



高取 正人 議員

ここが聞きたい

# 一般質問

## 企業版ふるさと納税の周知方法は

町長：プロジェクトチームと共に努力します

**問** 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）が創設されました。企業は従来の寄附額の3割の控除に加え法人住民税、法人税を2割、法人事業税を1割の合計6割が控除されます。従来より節税効果の高い税制ですが、町の取組みについてたずねます。

平成28年度に創設された税制ですので、納税額に対して控除される金額、控除される年度等の詳細について説明をお願いします。

8月に内閣府から認定された地方創生応援認定事業の例では「雇用創出拡大プロジェクト」、「交流人口拡大プロジェクト」、「まちぐるみ子育て応援プロジェクト」、「住みたい田舎移住促進プロジェクト」などがあります。近隣の認定事業件数は、富山県は0件ですが、山形県は1件、群馬県は4件、長野県は3件です。新潟県の認定件数

**町長** ご提案の羽生田学区、田上学区、川通り地区3地区のコミュニティづくりをすることは、私も必要であると思っております。それには地区の主体性があつて、機運を醸成して議論していただくということが一番だろうと考えています。

コミュニティセンターの建設につきましては、各地区に整備されることはいいことだろうと思っております。確かに公民館ももう手狭になつてきています。2、3の地区から敬老会は公民館ではできないとの要望もいただいています。コミュニティセンターができれば一番いいわけですが、ご承知のように現状では財政的な観点から今すぐということとは難しい状況です。

7件あります。これらの例から町ではどのような事業を考え、どのような効果を期待するかたずねます。

9月から個人版のふるさと納税は、ポータルサイトを利用することになりました。今現在までの納税額と企業版ふるさと納税の周知方法に、ポータルサイト等を利用することについてたずねます。

**町長** 国が認定した地方公共団体の地方創生プログラムに対し企業が寄附すると、寄附額の約6割の税の軽減があります。企業の決算時期により、早ければ28年度の法人税から軽減措置を受けることができます。

寄附を受ける地方公共団体は、国に地域再生計画を提出し、認定を受けなければなりません。地方版総合戦略に掲げられた事業であること、地方公共団体の区域以外の企業であること、事前に寄附の申し出があることなどが、認定

**問** 10月から本田上工業団地の売却に向けてプロジェクトチームが本格的に動き出すとのことですが、企業版ふるさと納税の寄附についても、アピールをすることは可能ですか。

個人版のふるさと納税の寄付金額について、今わかる範囲で金額をたずねます。

**町長** 企業版ふるさと納税の周知については、本田上工業団地のプロジェクトチームの企業誘致と同じであり、それを中心に、トップセールスもしながら、今後とも努力をしていきたいと思っております。

**町長** 町出身の方がトップにいる企業が、町を応援してくれるならばいいわけですが、なかなか声を上げてもらえなかったということです。

**総務課長** 9月1日から、ポータルサイトを利用してきましたが、9月12日までの件数は158件、金額にして204万円です。

**問** 企業版ふるさと納税はプロジェクトを計画し、企業に周知し、寄附を申し出てくれる企業を探さなければなりません。広く一般企業に周知する方法について、プロジェクトチームに担ってもらうのは可能ですか。



池井 豊 議員

## コミュニティ協議会の設立とコミセン建設を

町長：コミュニティ協議会は気運の醸成を、コミセン整備もいいことだが財政的な観点から今すぐは難しい状況です

**問** 現在の町における自治会の世帯数は20数軒〜300軒以上と不公平な状態になっています。自治会の再編ではなく、コミュニティ協議会を設立してはいかがでしょうか。「地域でできる事は地域で」と行政のスリム化と住民参加型の地域づくりが求められています。私の考えでは田上コミ協・羽生田コミ協・川通りコミ協と三つのコミ協をつくり、それぞれにコミセンを置くというやり方です。川通りを独立させたのは防災上の問題からです。羽生田総区からコミセン建設の請願が提出されています。これをきっかけにコミュニティ協議会の立ち上げと住民自治の推進を図らるべきです。町長の考えを聞かせてください。

**町長** ご提案の羽生田学区、田上学区、川通り地区3地区のコミュニティづくりをすることは、私も必要であると思っております。それには地区の主体性があつて、機運を醸成して議論していただくということが一番だろうと考えています。

コミュニティセンターの建設につきましては、各地区に整備されることはいいことだろうと思っております。確かに公民館ももう手狭になつてきています。2、3の地区から敬老会は公民館ではできないとの要望もいただいています。コミュニティセンターができれば一番いいわけですが、ご承知のように現状では財政的な観点から今すぐということとは難しい状況です。

**問** 県知事選で原子力防災についての議論が取りざたされていますが、改めて町の原子力防災について質問します。町では防災計画の原子力編は作られていますか今後の展望をたずねます。

現時点での柏崎刈羽原子力発電所の再稼働をどのように捉えているかもたずねます。

**町長** 原子力防災対策に係る地域防災計画の策定については、原子力規制委員会が定める原子力防災対策指針として原子力災害の対策を講ずべき地域として原発から30キロメートルの範囲となつています。当町は50キロメートルということで、今のところは計画を策定する義務はないということになつています。

原発の再稼働については泉田知事の発言と同様に「福島

コミュニティ協議会を設立して行政のスリム化と住民参加型の地域づくりを

地域防災計画で原子力編を作成し、対応策の検討を



▲柏崎刈羽原子力発電所

の状況をきちんと検証して、柏崎刈羽原発の再稼働について慎重にいくべき」と思っています。もし事故があつた場合は、50キロ圏内の町にもしかすると放射性物質が飛んでくるのではないかとこのような危険がありますので、慎重にやるべきです。現状ではやはり今再稼働すべきではないと思つています。

総務産経常任委員会  
所管事務調査

期日 平成28年8月2日

中江川支流河川改良工事

五社神社裏手から上流の、五社川沿いにある農地5.43haが流入区域となる中江川の支流の河川改良工事です。ゴルフ場入口付近では、ほぼ平行に五社川と接している堤防部分に、ボックスカルバート（延長5.5m）と、出口にフラップゲート（φ600mm）を設置し五社川に直接排水させる工事です。

この水は従来、五社団地の中を通りR403、JRを超えて、横山川雨水幹線排水路に排水していたものを改良したものです。雨のたびに中江川の雨水対策が指摘されていたことから、効果が期待される工事です。



▶ 中江川支流河川改良工事



▶ 上水道送水管布設工事

上水道送水管布設工事

新羽生田浄水場と川船河配水池を今滝冬鳥越線を利用して繋ぎ、全体を6工区に分け、送水管1603.3m（ダクタイル鋳鉄管φ150mm）、配水管21.04m（ポリエチレン管φ100mm）合わせて、1624.34mを布設する工事でした。

水道事故や大規模な災害等で大きな効果が期待されます。

委員長 熊倉 正治

社会文教常任委員会  
所管事務調査

期日 平成28年8月17日

出席者 田上小学校2名、羽生田小学校2名、田上中学校2名

議題・学校の現況について

教育委員会からの資料説明がありました。

①いじめ件数は昨年は4件教育委員会に報告がありました。が、現在まで0件です。

②不登校人数は昨年は30日以上の方が17人でしたが、現在8人とのことです。

③訪問教育相談員は、今年の4月から始めた新しい事業です。週3日の勤務で、経験、実績を生かし、今まで学校側が取り組めなかった難しい問題を双方に相談・調整し、相談員の業務を遂行しています。なお、現在までの対応件数は、不登校4件、その他4件

です。各学校より学習面と生活面の説明がありました。その中で、羽生田小学校は来年度の1年生は32人で、1クラス編成になるとの情報がありません。



▲社会文教常任委員会所管事務調査

また次のような質疑がありました。

**問** 児童生徒は、小論文の答えを求めると書けないとのことですが、入学試験や入社試験に必要なことだと思うので対策などは考えていますか。

**答** 文章を書く力がなくなつてきています。携帯電話で単語の往復だけで自分の考えを練ることや、人に伝えることが少ない状況です。学校では人間関係を育てる「学び合う授業」の推進を図っています。

**問** 小学校では、着衣水泳などの授業は行っていますか。

**答** プール最終日に体操着で行い、浮いて待てるの練習をしています。

**問** 介助員の雇用形態や数を聞かせてください。

**答** 町の雇用形態が、月給制から時給制に変わりました。介助員の方々には対応についてのモチベーション下がらぬよう、円満な話し合いをしています。学校介助員の数は、田上小は4人、羽生田小は3人、田上中学は1人です。

**問** 夏休み中のラジオ体操や、地区水泳など、どのように実施していますか。

**答** 両小学校とも地域やPTAにまかせています。行事などによって保護者の負担が増えるなどで、安全が担保できる範囲となると、どうしても日程が短くなります。

委員長 松原 良彦

### 三条地域水道用水供給企業団議会

#### 第2回定例会

期日 平成28年8月4日  
場所 企業団事務所

議長に三条市の山田富義市議が選出されました。

26年度未処分利益余剰金は5億9706万6786円で、3億3910万5841円は減債積立金に、2億5796万945円は資本金に組入れます。26年度水道用水供給事業会計決算の認定は、収益的収支の収入12億9676万440円、支出9

億3774万8352円、資本的収支の収入12億1320万8千円、支出18億3502万1485円となりました。それぞれ全会一致で可決、認定されました。

企業団議員 川崎 昭夫

### 新潟県後期高齢者医療広域連合

期日 平成28年8月31日  
場所 新潟県自治会館

27年度一般会計歳入12億6330万3千円、歳出12億1261万6千円で、差引5068万7千円で、28年度に繰り越して共通経費負担金の減額や国庫補助金の返還などの精算です。

27年度特別会計歳入2631億1153万5千円、歳出2606億1361万8千円で、差引56億

熊倉 正治

高取 正人

9791万7千円で、負担金を精算して28年度へ繰り越しとなります。

28年度広域連合一般会計補正予算は、103万6千円を追加し27年度国庫補助事業の、精算に係る経費の補正です。

28年度広域連合特別会計補正予算は、補正額59億4837万8千円を追加し、27年度各種負担金等の精算に係る経費を補正するものです。4議案は、採決の結果いずれも原案可決しました。

#### 追加提出議案

新潟県市町村総合事務組合規約の変更について、加茂市・田上町消防衛生組合に病児保育に関する事務を追加し、名称を「加茂市・田上町消防衛生保育組合」に変更することを可決しました。

広域連合議員 松原 良彦

## 第4回臨時会

期日 平成28年8月10日

● 28年度一般会計補正予算(第2号)

歳入

田上福祉会が建設を予定している小規模多機能型住宅介護施設・障がい者グループホームの建設費および開設に係る経費の補助金の追加です。

歳出

民生費では、田上福祉会が建設を予定している施設の建設費および開設に係る経費の補助金です。

消防費では、403号線の歩道拡幅工事の支障となる防火水槽の撤去費用です。

● 同年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)

終末処理場の改築更新工事において、国費の交付決定に伴い不足相当分に下水道事業債をあてることが必要になったため、予算の組み替えを行います。

● 同年度下水道事業会計補正予算(第1号)

6月に発生した川船川浄水場急速ろ過装置減水弁の故障に伴い職員の時間外勤務手当及び修繕費に、緊急の支払いが生じたための補正です。いずれも原案は可決しました。

## 第5回臨時会

期日 平成28年8月26日

● 加茂市・田上町消防衛生組合規約の変更について

加茂市・田上町消防衛生組合の共同処理する事務に「病児保育に関する事務」を追加することと、あわせて名称を「加茂市・田上町消防衛生保育組合」に変更する規約の変更でした。

原案のとおり可決しました。

## 全員協議会

県立加茂病院改築に伴う病児保育施設建設について

期日 平成28年7月25日

① 施設建設について27年12月21日付けの加茂市長と交わした合意内容が示されました。その中身は次の通りです。  
・ 施設は加茂病院に隣接する神明宮所有の土地に建設する。  
・ 土地の購入は加茂市が土地開発基金で取得し、その後一部事務組合が引き取ることに なります。  
・ 新加茂病院と病児保育施設は県の事業でアーケードで結ぶ。



▲臨時会

② 28年1月6日、町から県病院局へ加茂病院改築に係わる照会の回答を受理した説明がありました。内容は前出の3項目を了承するものでした。

期日 平成28年8月10日

前回、病児保育施設の回答を保留した点の説明があり、質疑が交わされました。

**問** 土地代金は妥当でしたか。

**答** 固定資産評価額等を使う方法は、通常行われている方法です。また、契約はしましたが、登記が終了しなければ代金の支払いは行われません。

**問** 先行取得した土地はいつ買戻すのですか。

**答** 年度中に行うとのことですが。

**問** 土地契約は、町として追認となっていないですか。

**答** 当初、加茂市が土地の先行取得をすることでしたが、今後、一部事務組合で手

## (仮) 地域交流会館等建設調査特別委員会

続きをすることになるため、追認とはならないと考えます。なお、これまでの「加茂市・田上町消防衛生組合」に「保育」を付け加え名称を変更する議案を提出したいとのことでした。議会からは、情報は逐次に出すようにしてほしいとの意見がありました。

期日 平成28年8月26日

病児保育施設建設に係る負担金については、加茂市と協議の結果を踏まえ、9月議会に補正を提案していきたいとの説明がありました。

その後、施設の概要、利用方法、作業スケジュール、建設経費などの説明がありました。

これに対して、「加茂病院受診者だけでなく広く門戸を開くべき」、「利用料は一律ではなく、収入による応分負担も検討すべき」、「利用の流れについては文書で示すべき」などの意見がありました。



▲全員協議会

### (仮) 地域交流会館等建設調査特別委員会

第7回

期日 平成28年8月26日

3月8日に開催された特別委員会以降の重点道の駅等に関連した主な経過および今後の予定に関して説明が行われました。6月8日には申請書類を提出し、現在は申請書類の確認・追加書類等の調整が行われています。

9月中旬に重点道の駅に関連した実設計業者の選定業務を開始する予定とのことです。

なお、交付金は平成29年度からのため、早々に契約したいとの説明でした。

設計業者の選定には、入札、コンペ、※プロポーザルとありますが、町としては実績のある業者の中から選定する「指名型プロポーザル」方式としたいとの説明でした。

第8回

期日 平成28年9月13日

「(仮称)道の駅たがみ・地域交流会館及び原ヶ崎センター」実設計・監理業務委託業者選定に係る指名型プロポーザル実施要領(案)の説明が行われました。

これに対して、審査評価基準の見直し、原ヶ崎交流センターの新たな活用方法を提案させるべきとの意見がありました。



▲(仮) 地域交流会館等建設調査特別委員会

※ 「プロポーザル方式」建築設計するうえで、最も適した「設計者(人)」を選びます。技術力や経験、プロジェクトに臨む体制などを含めた提案書の提出を求め、公正に評価して設計者を選ぶ方式です。

今回は羽生田小学校PTA会長、河住昌紀さんにお話しをうかがいました。



▲河住昌紀会長

## PTAの活動は

羽生田小学校のPTA活動は、大きい行事では運動会やバザー、田上小学校PTAとの合同ドッジボール大会、校内外美化奉仕活動などがあります。今はバザーの準備に向け、食券の袋詰めなどを含めた様々な作業を行っています。また、毎年学校側への要望や、町PTAとして町への要望活動なども子供たちの教育環境の充実に向けた重要な活動です。

## 現状と課題は

羽生田小学校のPTA役員は女性が多めに多く、皆さん育児や家事、仕事をしながら活動しています。

生徒数の減少による会員の減少に加え、PTA活動への参加者が少なくなってきたことや、職者の後継者探しは課題です。

少しでも楽しんでPTA活動に関わってもらいたいということで、昨年からは美化奉仕活動の際は炊き出しを行いました。作業後みんなで豚汁を食べて、きれいな学校を見ると子供も保護者も清々しい気持ちになります。

## 町に望むことは

学校では3年生以下の子供たちは国道を自転車を通ってはいけないという規則がありますが、友達の家や町内施設に行く際に非常に困っています。国道を使わずに目的地に辿り着けるような道路整備

や、情報提供をお願いしたいです。合わせて小学生は体の大きさにも個人差があり、大人では見通すことができる道路も、伸びた雑草で前方が見えないことも多くあります。

また、雨や雪など天候が悪い時でも、子供たちが楽しく遊べる場所がないので、悪天候時の遊び場所を整備していただきたいです。



▲美化奉仕活動

## 編集後記

9月上旬まで猛暑の後、気温も下がり過ぎしやすいい日が続いている中、9月の定例会が開催されました。決算審査は質問や意見が多数あり、来年度の予算編成に活かされるものと思います。

9月は第7回の温泉まつりが「おもてなしの心、癒しと笑い」をテーマに開催され、東龍寺のクラシックコンサートから華藏院のお茶会、緑日、落語祭りなど多くの方が訪れました。

(笹川 記)

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 浅野 一志 |
| 副委員長 | 小嶋 謙一 |
| 委員   | 松原 良彦 |
| 委員   | 熊倉 正治 |
| 委員   | 今井 幸代 |
| 委員   | 笹川 修一 |
| 委員   | 高取 正人 |